

第 12 回施設建設選定部会（第 1 部会）

招集年月日	平成 25 年 4 月 25 日 (木)					
招集場所	南部総合福祉センター 2 階会議室					
開会時間	午前 10 時 00 分					
閉会時間	午後 11 時 30 分					
出席員 及び 欠席委員	委員番号	氏名	出席の別	委員番号	氏名	出席の別
〔出席委員 11 名〕 〔欠席委員 0 名〕 〔代理出席 1 名〕	1			7	慶留間清栄	○
	2	瀬長 満	○	8	久手堅永昇	○
	3	與那嶺紘也	○	9	大城秀雄	○
	4	福島正惟	○	10	城間精善	○
	5	福地 斎	○	11	神山本聖	○
	6	崎原盛秀	○	12	玉城健一	○
会議に出席した事務局の職・氏名	事務局長	知花 賢正				
	室長	山城 匠				
	係長	知念正樹				
	主査	宮城勝元				
	主任	新垣美智子				
その他会議に出席した者	コンサルタント	沖縄チャンドラー				
	代理	大城治(糸満市部長)				
	その他	仲吉正弘(糸満市課長)				
会議に付した事件及び議決内容	別紙のとおり					

第 12 回施設建設選定部会（第 1 部会）

会 議 錄

次 第

1. 委嘱状交付

2. 開会あいさつ

3. 副部会長の選出

副部会長：城間精善（八重瀬町住民委員）

4. 前回議事録(要旨)の確認

5. 経緯及び最終処分場基本計画策定の内容修正について

① 部会で確認したことを上部で変更されているが、組織の手続きの流れを確認したい。

→ 下部に位置する組織が部会である。そこで決まった事項を幹事会、正副部会長会議に上げ、承認された事項を最高議決機関の理事会で決定する。

今回の件については、部会で決定した事項はあまりにも事業費が大きすぎる（防衛局から話あり）ことがあり、できるだけ事業費を縮小する形で検討しないといけないんじやないかということで、正副会長会議で協議した結果、構造変更による事業費の削減となつた。規模は変わらないので再度協議するのではなく、部会等には説明で対応するということで今回の会議の招集となつた。

② 今回の部会は、正副会長会議で決まったことを差し戻しして議論するということか。

→ 差し戻しではなく、首長で確認された事項なので了解いただきたいということ。

③ 第 1 部会で決定された事項は、幹事会で内容の議論をされているか。

→ 議論されている。

④ 前回決定した構造（鉄筋コンクリート構造）と今回出されている構造（補強盛土構造）の違いを説明してほしい。一番大事なのは、安全面である。今回出されている構造は安全性は確保できるのか。

⑤ 前回部会で決定した構造は、遮断型に近い安全性の高い構造であった。今回の構造はどれくらいの安全性が保たれるのか。

→ 鉄筋コンクリート構造の場合は、底盤に 3.5m 程度のコンクリートを敷いて側面にもコ

ンクリートをする。その上にシート等を敷設する。補強盛土構造の場合は、底盤に砂なり保護材をしてネットを敷き、土の上に二重シートを敷設する。さらにその上に保護砂、コンクリートを敷設する。法面については約1mの土を盛って、その上に約7、8mの補強材を敷設して、さらに土、ネットを交互に積み上げていく（10m程度）構造で、その上に二重の遮水シートを敷設する。この構造は都城市高崎などで採用されている構造で国の基準を十分に満たしており安全性についても問題はない。比較をすると鉄筋コンクリート構造の方が良いが盛土構造でも十分安全性は保たれる。

- ⑥ 地震等があった場合でも安全性の確保が絶対保たれる構造でないといけない。鉄筋コンクリート構造までとはいからくとも、折衷案として盛土構造にコンクリートを敷設して、絶対水漏れをしない方法等を検討してほしい。
- 盛土構造でも、底盤にはコンクリートを敷設する。法面については、普通コンクリートは使わないが、今後検討する考えである。
- ⑦ B、C案の可能性はないのか。
- B、C案がでてきた経緯は、事業費を減額するために規模の縮小をしようということできてきた案である。当初一元化も含めて糸豊の活用を考えたが、南部のごみを糸豊で全量処理することができないと回答があり、そこで出てきた案がB、C案であったが、糸豊、東部を稼働させ溶融することになるので、維持管理費も含めて試算をするとA案に比べ割高になる。よって、B、C案の選択はない。
- ⑧ これまで住民に説明した内容（鉄筋コンクリート構造）と異なるのではないか。理解が得られるのか。
- これまで住民に説明してきたことは、鉄筋コンクリート構造ではなく、盛土補強構造の説明をしている（先進地事例：都城高崎等）。
- ⑨ 今回の会議で出てきた意見等を理事会へ上げるのか。今日の会議は正副会長会議の決定事項の報告を受ける会議ではないのか。
- 理事会へは、第1部会、幹事会では安全性に関する懸念があったとの話はしたいと考えている。
- ⑩ 安全性がしっかりと確保できる構造であることをしっかりと説明し、地域住民が納得する形であれば、事業費の削減についても住民の税金で造られる施設なので理解が得られるのではないか。